

各学科・各コースにおける3つの方針

《地域生活支援学科がめざす人間像》

地域生活者の生活の質の向上を目指した支援を目的に、食と栄養・介護と福祉・多文化と国際化に関する専門知識と実践技術を修得して地域への貢献と活性化の活動ができる人材を養成し、そのための教育研究活動を行います。(学則 第3条)

地域生活支援学科 食生活支援コースの3つの方針

ディプロマポリシー

厳格な成績評価を行い、所定の単位を修め、以下の能力を備えた学生に卒業を認定し、短期大学士（地域生活支援学）の学位を授与する。

- ①知識と技術を相互に連携して、複合的に活用できる能力を身につけている。
- ②グローバルな視点から地域生活者への支援ができ、国際人としての感性と素養を身につけている。
- ③食と栄養についての専門的知識と技術を修得している。さらに、地域と連携して食生活改善を支援・推進する応用力と実践能力を身につけている。

カリキュラムポリシー

「食」・「福祉」・「多文化」の3つの生活分野と「いのち」・「暮らし」・「人生」の3つの生活支援レベルを組み合わせた知識と技術を体系的に修得できるカリキュラムを編成する。

- ①共通教育科目では、建学の精神「あすなろう」を中核とし、より豊かな人間性の育成を図る。
- ②専門教育科目では、各コースに特徴的な専門的知識と技術を中核とし、コース間の横断的履修を可能とするカリキュラムも組む。
- ③食と栄養に係る分野で、「社会生活と健康」・「人体の構造と機能」・「食品と衛生」・「栄養と健康」・「栄養の指導」・「給食の運営」の6領域における科目を重視し、国家免許「栄養士」の資格取得のための専門科目を設ける。

アドミッションポリシー

専門的かつ複合的な知識と技術を活用して、多様な生活意識を持った人々への生活支援および地域の活性化にも貢献できる「マルチに学び、マルチに活動する」人材を養成するために、高等学校教育相当の学力、特に学修の土台となる日本語の読解力と記述力を求めます。また人々との交流をとおして、多様な意見を汲み取りながら主体性を持って協調的に行動する力を有していることを期待します。さらに各コースに挙げる意欲、能力、適性を持った学生を受け入れることを基本方針とします。

- ①食の大切さや食育の重要性をとおして、人々の健康づくりで生活支援をしたい人。
- ②食への知識や技術を磨くことに意欲を持ち、努力を惜しまない人。
- ③食を食べることが好きで、おいしいものを作ることに熱意を持っている人。
- ④食をとおして人々と地域の活性化に役に立ちたいとの強い意志を持ち、多彩な食の現場で活躍しながら生活者への支援をしたい人。

地域生活支援学科 福祉生活支援コースの3つの方針

ディプロマポリシー

厳格な成績評価を行い、所定の単位を修め、以下の能力を備えた学生に卒業を認定し、短期大学士（地域生活支援学）の学位を授与する。

- ①知識と技術を相互に連携して、複合的に活用でき能力を身につけている。
- ②グローバルな視点から地域生活者への支援ができ、国際人としての感性と素養を身につけている。
- ③介護に関連する専門的知識と技術と共に、利用者本位、自立支援、人権擁護の視点を持ち、職業倫理を身につけ、多職種協働によるチームアプローチの必要性を理解している。さらに、地域と連携して要介護者への生活改善を支援・推進する応用力と実践能力を身につけている。

カリキュラムポリシー

「食」・「福祉」・「多文化」の3つの生活分野と「いのち」・「くらし」・「人生」の3つの生活支援レベルを組み合わせた知識と技術を体系的に修得できるカリキュラムを編成する。

- ①共通教育科目では、建学の精神「あすなろう」を中核とし、より豊かな人間性の育成を図る。
- ②専門教育科目では、各コースに特徴的な専門的知識と技術を中核とし、コース間の横断的履修を可能とするカリキュラムも組む。
- ③福祉に係る分野で「人間と社会」・「介護」・「こころとからだのしくみ」・「医療的ケア」の4領域の連携を重視して「介護」の科目をバックアップし、国家資格「介護福祉士」の受験資格取得のための専門科目を設ける。

アドミッションポリシー

専門的かつ複合的な知識と技術を活用して、多様な生活意識を持った人々への生活支援および地域の活性化にも貢献できる「マルチに学び、マルチに活動する」人材を養成するために、高等学校教育相当の学力、特に学修の土台となる日本語の読解力と記述力を求めます。また人々との交流をとおして、多様な意見を汲み取りながら主体性を持って協調的に行動する力を有していることを期待します。さらに各コースに挙げる意欲、能力、適性を持った学生を受け入れることを基本方針とします。

- ①人が好きで、福祉や介護の仕事に熱意を持ち、支援を必要とする人の援助をしたい人。
- ②世の中のできごとに常に興味を持ち、社会を良くしたいという意欲がある人。
- ③介護の知識や技術、福祉制度を学修して、人々の快適な生活を支援したいという目的意識のある人。
- ④常に向上心を持ち、人と地域の福祉の向上に役立ちたいという熱意のある人。

地域生活支援学科 多文化生活支援コースの3つの方針

ディプロマポリシー

厳格な成績評価を行い、所定の単位を修め、以下の能力を備えた学生に卒業を認定し、短期大学士（地域生活支援学）の学位を授与する。

- ①知識と技術を相互に連携して、複合的に活用でき能力を身につけている。
- ②グローバルな視点から地域生活者への支援ができ、国際人としての感性と素養を身につけている。
- ③生活全般を支援するための食と福祉と多文化にまたがる汎用的専門知識と技術を修得している。さらに、グローバルな視点を持って国際社会でも活躍できる応用力と実践能力を身につけている。

カリキュラムポリシー

「食」・「福祉」・「多文化」の3つの生活分野と「いのち」・「くらし」・「人生」の3つの生活支援レベルを組み合わせた知識と技術を体系的に修得できるカリキュラムを編成する。

- ①共通教育科目では、建学の精神「あすなろう」を中核とし、より豊かな人間性の育成を図る。
- ②専門教育科目では、各コースに特徴的な専門的知識と技術を中核とし、コース間の横断的履修を可能とするカリキュラムも組む。
- ③多文化複合領域に係る分野で、「外国語」・「観光と旅行」・「ホテルビジネス」・「ホスピタリティ」・「コミュニケーションとプレゼンテーション」の科目を重視し、食と福祉の分野とも連携しながらマルチに学び、国際的にもマルチに活動できる生活支援コンシェルジュのための専門科目を設ける。

アドミッションポリシー

専門的かつ複合的な知識と技術を活用して、多様な生活意識を持った人々への生活支援および地域の活性化にも貢献できる「マルチに学び、マルチに活動する」人材を養成するために、高等学校教育相当の学力、特に学修の土台となる日本語の読解力と記述力を求めます。また人々との交流をとおして、多様な意見を汲み取りながら主体性を持って協調的に行動する力を有していることを期待します。さらに各コースに挙げる意欲、能力、適性を持った学生を受け入れることを基本方針とします。

- ①人々の生活と意識の多様性を柔軟に受け止めながら、生活者に寄り添った人間味のある支援をしたい人。
- ②多様な国内外文化とことばに興味を持ち、外国語とコミュニケーション力を駆使して広く人々への生活支援業務に従事したい人。
- ③観光や旅行ビジネスに興味を持ち、地域の文化や特性を活かして人々の幸せと生活向上への支援をしたい人。
- ④外国の若者と一緒に語らい学修することに興味を持ち、海外留学を目指して国際人として羽ばたきたいとの熱望を持っている人。

《幼児保育学科がめざす人間像》

保育に関する知識と技術を備えた高い実践力を持つ保育者の養成と豊かな人間性を兼ね備えた人材の養成を目指し、そのための教育研究活動を行います。(学則 第3条)

幼児保育学科の3つの方針

ディプロマポリシー

厳格な成績評価を行い、所定の単位を修め、以下の能力を備えた学生に卒業を認定し、短期大学士(保育学)の学位を授与する。

- ①修得した知識・技能・態度により、自らが発見した新たな課題を解決することができる。
- ②職業生活、社会生活に必要な知的活動を支えるコミュニケーション能力や論理的思考力を身につけている。
- ③自律しながらも他者と協調して行動でき、社会の一員として社会の発展に寄与できる。
- ④保育の専門職として専門分野の幅広い基礎知識と実践力を有し、実践の場で具現化していくことができる。
- ⑤以上4つの能力の修得を基盤として、コースごとに次に挙げた能力を修得している。
 - 表現・音楽コース：
自己を表現することと目標を完遂することに積極的な意欲を有する。
 - 心理・環境コース：
多様な体験と交流を通して、他者への共感と自ら学び取る態度を身につけている。

カリキュラムポリシー

子どもも人格を持った一人の人間であることを心に留め、子どもの成長を助けるための専門的な知識・技能・実践を備えた幼稚園教諭、保育士の養成を目的として、その実現のためのカリキュラムを編成する。

- ①一般教育科目では、専門性にとらわれない幅広い視野と豊かな人間性の育成を図る。
- ②専門教育科目では、幼児教育者としての専門知識や実践的技術を体系的に修得できるようカリキュラムを組み立てる。
- ③その上で、「表現・音楽コース」と「心理・環境コース」の2コースを設け、個々の学生の多様な関心や目的を尊重し、支援するための学習カリキュラムを編成する。
- ④1年生と2年生の「学び合い」による学生自身の主体的な自己表現・自己成長を促す機会を創出することを基本姿勢として重要視する。
 - 「音楽・表現コース」では、ダンスや音楽に関するコース専門科目を設け、それらの学びの集大成としての「実技発表会」を通して、演奏・表現技術の向上と創意工夫する力、自らの学びの目標を具体化することで個々の課題に立ち向かう意欲と、完遂することでの達成感の享受を目指す。
 - 「心理・環境コース」では、幼児期からの環境教育に寄与する人材と、地域の乳幼児とその保護者の子育て支援が実践できる人材の育成を目指し、体験型のコース科目を設ける。それにより、保育現場での現代課題に対応する力量と、自ら感じ、学ぶ態度を身につけ、他者及び環境に対する共感力・感受性を育成する。

アドミッションポリシー

将来、保育所、幼稚園、福祉施設において、保育に関する専門知識・技術を基盤として、児童の保育及び保護者に対する保育に関する指導を行うことができる保育者を育成するために、次のような能力、意欲、態度を持った学生を受け入れることを基本方針とします。

- ①他者(特に、子ども)との交流に積極的であり、且つ共感することができる人。
- ②ボランティア活動や職業体験に積極的に参加した経験を有する人。
- ③自己の多様な体験をふりかえり、それを表明・省察することができる人。